

観る映画祭から 創る映画祭へ



主催：「むさしの」から映像文化を育てる会

企画・運営：ムービンピック実行委員会

事務局 武蔵野市西久保 2-1-10 B1 シンクポート内（担当・秋田）
お問い合わせ メール：office@movinpic.com 電話：0422-51-2113

後援：東京武蔵野ライオンズクラブ

武蔵野商工会議所
武蔵野市商店会連合会
武蔵野市観光機構
武蔵野市民芸術文化協会

2017 ムービンピック

2012年から始まった武蔵野発、映像制作のオリンピック

2017年 競技設定

「井の頭恩賜公園100周年に相応しい、短編映画を完成させる」



開園100周年
公認イベント
井の頭恩賜公園
100年実行委員会



▲ 2016年10月30日(土)、武蔵野公会堂で基本構想を発表!!



世界の映像クリエイターから “憧れの地 むさしの” と言われる日を目指して



ムービンピックとは

2012年から映像のオリンピック、武蔵野発の映画祭「ムービンピック」にチャレンジしています。
24時間で映画を完成させる「**24時間映像制作競技**」や、井の頭恩賜公園開園100周年を記念した「**LOVE井の頭♥ショートムービーコンテスト**」などを開催してきました。

「ムービンピック」の特徴

映像クリエイターが集まり、定められた競技設定に合わせた映画を創り、競い合う「創る映画祭」で、映像クリエイターと開催地の双方にメリットがあります。

- 映像クリエイター ⇒「自分を育ててくれた、新しい故郷が出来る」
- 開催地 ⇒「良縁で結ばれた、新しい才能が羽ばたいていく」

今後の展開

この地区だけが独占するイベントでなく、広く情報発信し、開催地を増やし、各地の金メダル受賞者を集めての決勝大会開催を目指します。
2020年には「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。映像の祭典「ムービンピック」を、世界に猛アピールするチャンスです。地区予選、全国大会、…そして、世界規模に！

2017ムービンピック開催について

2017年のテーマ

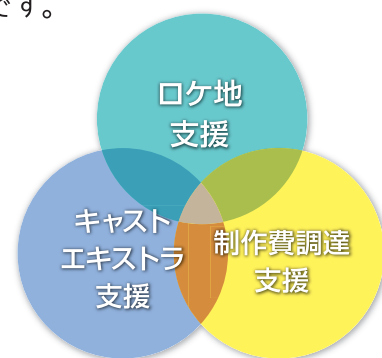
「100周年を迎える井の頭恩賜公園」に決めました。
競技設定は「井の頭恩賜公園100周年に相応しい、短編映画を完成させろ」です。

参加クリエイターのメリット

- A) 地元情報の提供、ロケ地交渉、俳優・エキストラの確保のほか、制作資金集め支援など、クリエイター任せではなく、運営サイドが制作サポートします。
- B) 完成作品は地域を中心に、より多くの場所で上映されるように後押しします。
- C) 完成作品を、全国・世界の映画祭へエントリーするために協力します。

開催地のメリット

- A) 地元を舞台にした映画が完成します。
- B) 映画制作に関わるチャンスが多く、地元への愛着がより深まっていきます。
- C) 他に類を見ない映像イベントは、メディア等に多く取り上げられます。



ムービンピック実行委員会では、わくわく、楽しく、一緒に夢を追いかけてくれる「スタッフ」「ご支援者」募集中です。

ムービンピック★ヒストリー

2012

今までの映画祭は“作品を集めて”上映し、優劣を審査するスタイルですが、“人（映像クリエイター）を集めて”、地元の人たちと共に、制作過程を楽しみながら創り上げた作品で勝負する。ムービンピック構想は、そんな新スタイルの映画祭を目指しスタートしました。



第1回 24時間映像制作競技

2012年11月3日、「ムービンピック」を核にして、「むさしの吉祥寺映画フェスティバル」と命名されたイベントが、吉祥寺のパウスシアターをメイン会場に開催されました。些細な雑談から始まった企画が実際に形になった訳で、開催までには、実に様々な人が集まり、多くのアイデアが提案されました。“観る映画祭から、創る映画祭へ”、当初の48時間構想から24時間と、さらに過酷さを増したルールで開催したのが初回ムービンピックでした。

第2回 24時間映像制作競技

武蔵野市で多くのイベントが開催されており、映画フェスティバルとそれらを共存させる困難さが大きな障害となり、ムービンピック実行委員会が独立する形で残りました。なんとか開催に漕ぎ着けた第二回ムービンピックは、熱き映像クリエイターたちの奮闘で、「初回よりもクオリティの高い作品が完成したね」と審査員を驚かせました。規制されたルールの中で観賞に値する作品が作れるのだと、プロの既成概念に一石を投じた結果となりました。

2017ムービンピック募集要項

第1回短編映画制作競技

「井の頭恩賜公園100周年に相応しい、短編映画を完成させろ」

応募必要事項

※詳しくはサイトをご覧ください。

- ・氏名 ・連絡先等
- ・経歴（閲覧可能な過去作品があればURL表記）
- ・自己アピール ・制作予定の作品構想

選考までの流れ

- ・募集期間：2017年4月15日（土）～5月15日（月）※詳しくはサイトをご覧ください。
- ・受け付け方法：指定サイト内より送信
- ・一次選考：送信情報から10名程度に絞る
- ・最終選考：面接で3～5名を決定、5月末（日程については後日連絡）

制作条件

- ・20分以内の短編映画
- ・井の頭恩賜公園100周年記念作品に適うもの
- ・地元での撮影は、事前に実行委員会に報告し了承を得ること
- ・制作費サポート企画に参加すること
 - サポート企画① クラウドファンディングの個別アップにチャレンジする
 - サポート企画② スポンサー候補へのプレゼンテーションにチャレンジする（上記2点を遂行するためのノウハウ提供・サポート有り）
- ・必ず作品を完成させる強い意志を持つこと

表彰

- ・来場者の投票などを加味して、審査員が協議のうえ決定

・金メダル 賞金10万円、銀メダル 賞金5万円、銅メダル 賞金3万円

作品完成後

- ・実行委員会と相談・協力して、国内外の映画祭へ積極的にエントリーする
- ・地元を中心とした上映会開催での作品無料提供（競技会後1年間）
- ・メイキングを含めたDVD制作の許諾
- ・ムービンピックHPへの情報アップ協力

URL

<http://movinpic.com/2017/>

2016

「LOVE井の頭♥ショートムービーコンテスト」開催

井の頭恩賜公園は「むさしの」シンボリック的存在。その井の頭恩賜公園が開園100周年を迎えるのを祝うために、公園はもとより、公園近くの街並やお店、景観、パフォーマンス、思い出などをテーマにした3分以内のショートムービー作品を募集しました。公園を愛する人たちと、武蔵野公会堂の大スクリーンにて上映し、100周年を盛り上げました。

魅力的な映像に魅かれた観光客が、ムービンピック開催地を訪れ、制作したクリエイターが未来の巨匠へと育っていくために

当初、映像業界のオリンピックを目指す企画も、地道な実現可能路線へと修正とすることで、輝いていたはずの構想が色褪せることがあります。映像制作競技と言うからには、多くの競技種目があり、多くの参加者がいて当然です。初心に戻り、映像制作競技を再開いたします。